科目名	成人看護学方法論Ⅱ	講師	非常勤講師
履修時期	2年　前期	単位数	1
		時間	30

＜科目設定理由＞

解剖生理学では、人体の様々な組織や細胞・臓器について、それらが正常に機能することで人間の生命を維持していることを学んだ。病態学では、人体の様々な機能が破綻した状態について学び、病態・検査・治療に関する知識と結びつけ身につけた。

この科目では、解剖生理学と病態学の知識を基盤とし、成人看護学概論で学んだ成人期にある対象の特徴をふまえ、対象が各種の健康障害から回復していく、障害を持ちながらも生活を再構築していく過程を支援するための知識と技術について学ぶ。健康障害を抱えた対象の身体的・精神的・社会的特徴を理解し、対象の置かれた状態を観察し判断するための知識、回復に向けた支援を対象に合わせて実践するための知識を身につける。

ここでは、消化・吸収障害、代謝・内分泌障害、腎機能障害のある対象への看護について学習する。

学習目標	1. 消化・吸収障害のある対象への看護を理解する。 2. 代謝・内分泌障害のある対象への看護を理解する。 3. 腎機能障害のある対象への看護を理解する。
学習内容	＜消化器＞ 1回目　消化・吸収機能障害のある患者の観察とアセスメント 2回目　検査・処置を受ける患者の看護 　　消化管内視鏡、造影検査、超音波検査、胆道・胆嚢ドレナージ 3回目　手術を受ける患者の看護 　　食道切除術、肝切除術、膵切除術 4回目　手術を受ける患者の看護 　　大腸切除術と人工肛門造設術、胃切除術 5回目　肝がん、膵がん（終末期）患者の看護 ＜代謝・内分泌＞ 1回目　代謝・内分泌機能に障害のある患者の観察とアセスメント 2回目　糖尿病患者の看護 　　内服治療、インスリン補充療法、食事運動療法 3回目　検査・処置を受ける患者の看護 　　簡易血糖測定（演習）、糖負荷試験、血糖値のアセスメント 4回目　甲状腺疾患患者の看護 　　甲状腺機能亢進症・低下症 5回目　高脂血症、高尿酸血症患者の看護 ＜腎＞ 1回目　腎機能に障害のある患者の観察とアセスメント 　　検査・処置を受ける患者の看護 　　腎生検、間欠的自己導尿の指導 2回目　腎不全患者の看護 3回目　血液透析・腹膜透析を受ける患者の看護 4回目　腎移植を受ける患者の看護
授業形態	講義、演習
評価方法および評価の観点	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門Ⅱ　成人看護学⑤消化器　⑤代謝・内分泌　⑧腎・泌尿器
参考資料・図書	適宜指示する
履修上の留意事項・受講条件	解剖生理学、病態学を復習した上で授業に臨むこと。